

菊川市こども・わかもの参画宣言

「全てのこども・若者が自分らしく自らの思いを表現し参画できる社会」を目指し策定された「菊川市こども・わかもの参画宣言」。ここでは、宣言の概要と策定に関わった若者たちの宣言に込めた想いを紹介します。

菊川市こども・わかもの参画宣言

■ 理念 ■

私たちは、全てのこども・若者が地域に支えられ、自分らしく自らの思いを表現し、その権利が保障され、まちづくりに参画できる「まち」をつくりまします。

■ 指針 ■

1 参加・参画

私たちは、全てのこども・若者が様々なまちづくり活動へ当たり前に参加・参画できる「まち」をつくりまします。

2 意見表明・意見反映

(1) こども・若者

私たちは、自らの思いや意見を発するとともに、意見をすぐに表明できないこども・若者の声も一緒に届けられるように努めます。

(2) 大人

私たちは、全てのこども・若者が、意見を表明できる機会を確保し、その意見をまちづくりへ反映するよう努めます。また、意見をすぐに表明できないこども・若者が、安心して意見を言えるよう支援します。

3 協働

私たちは、「全てのこども・若者が参加・参画できるまち」を実現するため、様々な人たちと協働で取り組みまします。

言葉の説明

● 私たちって誰のこと？

菊川市に関わる全ての人たちのことです。菊川市全体で「こども・若者の参画」を宣言するため、主語を「私たちは」にあわせています。

● 「まちづくり」ってどんなこと？

この宣言で使われる「まちづくり」とは、地域を活発にして、にぎわいづくりをすることだけではなく、地域・NPO・学校・会社・市役所など、幅広い分野でそれぞれ考える、社会をよくするための活動全てのことです。

● 「自分の意見を表すこと意見が受け入れられること」について

指針の2は、「こども・若者」と「大人」で役割が違うため分けて書いています。

● 「全てのこども・若者」ってどういうこと？

菊川市に住む・通うなど、菊川市に関わる全てのこども・若者のことです。

全ての世代が同じ目線で話し合えるようになったら



カトウズプール
紗奈

(常葉大学附属
菊川高校2年生)

言葉1つでも解釈が違うので、みんなが同じ方向を向けるように言葉を選びました。大人の中でも世代によって、意見を分けることが多いと思います。宣言を通して、全ての世代が同じ目線で話し合えるように伝えていきたいです。菊川市がきっかけになって日本全体でもそうなるといいと思います。

こどもの意見も大人の意見も同じように受け取って



成島 千尋

(常葉大学附属
菊川高校2年生)

指針の部分は意味が伝わるように言葉を選びました。こどもだから、大人だからではなく、こどもの意見も大人の意見も、同じ意見として取り扱って平等に受け取ってほしいです。まちづくり活動に自分から参加するのは難しいかもしれませんが、宣言を読んで積極的に動けば、大人も受け止めてくれるということ伝えていきたいです。

菊川市から全国に宣言の理念が広まってほしい



戸塚 俊作

(掛川西高校
3年生)

宣言はこどもと大人、それぞれに対するメッセージが込められています。そのメッセージが小学生でも理解できるように、若者当事者のメンバーでこども・若者版も作成しました。宣言を通して、こどもにも意見を表明する権利があることを知ってもらい、大人の協力のもと、こども・若者が意見を表明する機会が少しでも増えたら嬉しいです。